

短期大学の情報の公表

平成23年5月



西日本短期大学教育研究活動等の情報公開について

本学が公的な教育期間として、社会に対する説明責任を果たすとともに、その教育の質を向上させる観点から、下記の情報を公表します。

(学校教育法施行規則等の一部を改正する省令(平成22年6月15日公布、平成23年4月1日施行)に基づくもの)

(1) 大学の教育研究上の目的に関すること。(第1号関係)

本学は教育基本法及び学校教育法に則って人格の育成と陶冶を旨とし、併せて法律、政治、社会福祉及び子どもの養護と教育並びに造園その他生活環境全般に亘って実際の専門教育を施し、広く人類の文化に貢献しうる基盤を培養することを目的とする。

本学において授与する学位は短期大学士とし、学位に付記する専攻分野の名称および各学科の人材の養成に関する目的その他教育研究上の目的は次のとおりとする。

学 科	学位に付記する 専攻分野の名称	教育研究上の目的
法 学 科	法 学 (Associate of Laws)	リーガルマインドを培うことで、法曹界、行政、企業、社会福祉等あらゆる分野で活躍する有能な人材の養成をする。
緑地環境学科	造園学 (Associate of Landscape Architecture)	自然との共生を図り、伝統的造園文化・技術を継承し、快適な生活環境を創造できる人材の養成をする。
社会福祉学科	社会福祉学 (Associate of Welfare)	幅広い識見豊かな人間的基盤の上に高度の技術と知識を有する専門性の高い介護福祉士の養成をする。
保 育 学 科	幼児保育学 (Associate of Childhood Education)	保育・幼児教育に関する高度な専門知識や技術を習得させ、さらに幅広い教養と視野を持った人間性豊かな保育者の養成をする。
健康スポーツ コミュニケーション学科	社会福祉学 (Associate of Social Welfare)	健康・体力の保持増進のための運動や障害者・高齢者の健康づくり、生涯づくりなど、生活の質の向上に貢献し、実践できる指導者の養成をする。
メディア・プロモーション 学科	メディア法学 (Associate of Media and Law)	急速に進展する現代社会の情報化とグローバル化に対応した高水準の教養教育と実践的な専門教育を展開し、メディアに関する高度な職業意識と専門的な能力を兼ね備えた人材の養成をする。

(2) 教育研究上の基本組織に関すること。(第2号関係)

本学は西日本短期大学と称し次の6学科を設置する。

- 法学科 (Department of Law)
- 緑地環境学科 (Department of Landscape Architecture)
- 社会福祉学科 (Department of Social Welfare)
- 保育学科 (Department of Childhood Education)
- 健康スポーツコミュニケーション学科 (Department of Health and Sports Communication)
- メディア・プロモーション学科 (Department of Media Promotion)

(3) 教員組織, 教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること。(第3号関係)

本学の教員組織, 教員の数は下記のとおりとする。

平成23年5月1日現在

学 科 名	専 任 教 員 数					設置基準で定める 専任教員数
	教授	准教授	講師	助教	助手	
法学科	5	0	0	0	0	4
緑地環境学科	4	0	2	1	0	7
社会福祉学科	2	2	0	2	0	4
保育学科	3	4	1	2	2	8
健康スポーツコミュニケーション学科	1	1	1	1	0	4
メディア・プロモーション学科	3	2	0	1	0	4

各教員が有する学位及び業績に関することは下記に記載しております。

- 法学科
<http://www.nishitan.ac.jp/gakka/hougaku/teacher.html>
- 緑地環境学科
<http://www.nishitan.ac.jp/gakka/ryokuchi/teacher.html>
- 社会福祉学科
<http://www.nishitan.ac.jp/gakka/fukushi/teacher.html>
- 保育学科
<http://www.nishitan.ac.jp/gakka/hoiku/teacher.html>
- 健康スポーツコミュニケーション学科
<http://www.nishitan.ac.jp/gakka/sports/teacher.html>
- メディア・プロモーション学科
<http://www.nishitan.ac.jp/gakka/media/teacher.html>

(4) 入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること。(第4号関係)

本学の入学者に関する受入方針は下記のとおりとする。

学 科 名	入学者に関する受入方針
法学科	<p>コンプライアンスの重要性が叫ばれる今日の社会において、必要な資質は法に対する興味や理解である。本学では、社会に目を向けている人、あるいは少なからず興味を抱いている人に対して、法の基礎を体得させ、社会で必要とされるキャリア・実践力を見につけさせることに力を注いでいる。従って、①国際社会の動きに興味がある。②国内政治の動向に興味がある。③事件や犯罪報道に興味がある。④社会福祉に興味がある。⑤会社の合併や経済動向に興味がある。⑥卒業後、編入を考えている人などの入学を予定している。</p>
緑地環境学科	<p>一般常識や教養を身につけた幅広い人格を持った人材であるとともに、本学科の教育目標を「良質な緑地及び自然と共生した健全な生活環境を創造すること。そして、人類の存続と発展、人々の幸福に寄与すること。」と明快に認識し、その勉学・研究に情熱を傾注し、将来社会に貢献できると期待できる人材を求める。</p>
社会福祉学科	<p>社会福祉学科は、高齢者だけでなく子どもから認知症高齢者まで、心身に障がいのあるすべての人を対象に、生活の質を高めるための支援を実践できる、質の高い介護福祉士を養成する学科です。</p> <p>本学科では、アロマセラピーや音楽療法、園芸療法など「癒しのケア」と呼ぶ「こころに働きかけるケア」が学べる特徴あるカリキュラムを配置し、相手の気持ちを感じ取れる豊かな感性と、幅広い知識や専門的な技術を学び、わが国の社会福祉に貢献できる人材を育成します。</p> <p>具体的には次のような人が多数応募して欲しいと願います。①人の暮らしに関心があり、思いやりの気持ちを持って他者と関われる人。②人や社会と関わりながら、自己成長したいと希望している人。③人のために役立つ仕事をしたい人。</p>
保育学科	<p>本学科では、建学の精神である「宇宙精神」と「報恩感謝」を理解し、広い視野で物事を捉える力と、宇宙の恩に感謝し、社会・親の恩に報い感謝の心を忘れない「思いやりの保育力」を身につける全人教育を行っています。豊かな人格を備えた保育士・幼稚園教諭を目指し、「感謝の心」「謙虚な心」「和の心」という3つの心を、先生や友人・子どもたちとのふれあいを通して育んでいきます。更に保育・</p>

	<p>幼児教育に関する「専門的知力」と技能の習得、多様なニーズに応えるための主体的に「学ぶ力」や、コミュニケーション能力も含めた「表現力」を身につけた人間的魅力にあふれた保育者を育成します。以上の本学の教育方針に賛同される、学生諸君の入学を希望します。</p>
健康スポーツ コミュニケーション学科	<p>社会福祉の視点から高齢者・身体障害者等の身体機能が低下した人及び生活習慣病につながるメタボリック症候群に病んでいる人を対象とした身体機能の向上と健康管理また運動実践やスポーツを通じての健康的な生活の質を高めるために支援・共感できる人材を求める。</p>
メディア・ プロモーション学科	<p>メディア・プロモーション学科が求める学生は、自らが主体的にメディア文化の未来を開拓する意志と素質とを兼ね備えた人材である。メディアの名称を冠した学科は他にも多く存在しているが、それらの大半はテクノロジー重視のものである。本学科は明確にテクノロジーではなく、表現者の領域に自らの存在意義を限定し高水準でのコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を有する学生を養成せんとするものである。したがって本学科が求める学生には、あらかじめ学科への素質的適合性の高さが要求される。</p>

本学の入学者の数、収容定員及び在学する学生の数は下記のとおりである。

平成23年5月1日現在

学 科 名	入学定員 (人)	収容定員 (人)	入学者数 (人)	在籍者数 (人)
法学科(秋季入学を含む)	70	140	35	109
昼間主コース	50	100	26	82
夜間主コース	20	40	9	27
緑地環境学科	70	140	22	64
社会福祉学科	60	120	42	76
保育学科	100	200	96	175
健康スポーツコミュニケーション学科	40	80	25	62
メディア・プロモーション学科	40	80	13	13
計	380	760	233	499

卒業又は修了した者の数

平成23年5月1日現在

学 科 名	学位授与者数 (人)	卒業者数 (人)
法学科(秋季入学を含む)	40	40
昼間主コース	23	23
夜間主コース	17	17
緑地環境学科	37	37
社会福祉学科	34	34
保育学科	80	80
健康スポーツコミュニケーション学科	23	23
メディア・プロモーション学科	平成23年4月	新設
計	214	214

進学者数及び就職者数

(法学科夜間主コースを除く)

平成23年5月1日現在

	就職希望者数	就職者数	編入者数	進学者数
法学科	10	7	4	2
緑地環境学科	22	22	3	3
社会福祉学科	28	28	1	2
保育学科	74	71	2	3
健康スポーツコミュニケーション学科	19	18	0	0
計	153	146	10	10

(5) 授業科目, 授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること。(第5号関係)

シラバス(授業計画)を参照のこと。

- 法学科
<http://www.nishitan.ac.jp/joho/syllabus/2011hougaku.pdf>
- 緑地環境学科
<http://www.nishitan.ac.jp/joho/syllabus/2011ryokuchi.pdf>
- 社会福祉学科
<http://www.nishitan.ac.jp/joho/syllabus/2011fukushi.pdf>
- 保育学科
<http://www.nishitan.ac.jp/joho/syllabus/2011hoiku.pdf>

- 健康スポーツコミュニケーション学科
<http://www.nishitan.ac.jp/joho/syllabus/2011sports.pdf>
- メディア・プロモーション学科
<http://www.nishitan.ac.jp/joho/syllabus/2011media.pdf>

(6) 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること。(第6号関係)

本学を卒業するために必要な授業科目及び単位数は、次のとおりとする。(学則第21条)

法学科昼間主コース(学位:法学)

授 業 科 目	卒業要件単位
必 修 科 目	11単位
選 択 科 目 の 中 か ら	54単位以上
計	65単位以上

緑地環境学科(学位:造園学)

授 業 科 目	卒業要件単位
必 修 科 目	28単位以上
選 択 科 目 の 中 か ら	39単位以上
計	67単位以上

保育学科(学位:幼児教育学)

授 業 科 目	卒業要件単位
基 礎 科 目 か ら	12単位以上
専 門 科 目 の 必 修 科 目	22単位
専 門 科 目 の 選 択 科 目 か ら	29単位以上
計	63単位以上

メディア・プロモーション学科(学位:メディア法学)

授 業 科 目	卒業要件単位
基 礎 科 目 か ら	8単位以上
専 門 科 目 の 必 修 科 目	18単位
専 門 科 目 の 選 択 科 目 か ら	36単位以上
計	62単位以上

法学科夜間主コース(学位:法学)

授 業 科 目	卒業要件単位
必 修 科 目	8単位
選 択 科 目 の 中 か ら	57単位以上
計	65単位以上

社会福祉学科(学位:社会福祉学)

授 業 科 目	卒業要件単位
必 修 科 目	72単位以上
選 択 科 目 の 中 か ら	9単位以上
計	81単位以上

健康スポーツコミュニケーション学科(学位:社会福祉学)

	卒業要件単位
基 礎 科 目 の 中 か ら	8単位以上
専 門 科 目 の 必 修 科 目	18単位以上
専 門 科 目 の 選 択 科 目 か ら	41単位以上
計	67単位以上

(7) 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること。
(第7号関係)

本学の校地、施設について

- 福浜キャンパス
<http://www.nishitan.ac.jp/campus/fukuhama.html>
- 二丈キャンパス
<http://www.nishitan.ac.jp/campus/nijo.html>
- キャンパス周辺
<http://www.nishitan.ac.jp/campus/shuhen.html>
- 図書館
<http://www.nishitan.ac.jp/toshokan/index.html>
- 生活環境
<http://www.nishitan.ac.jp/campus/kankyo.html>
- 年間行事
<http://www.nishitan.ac.jp/campus/calendar.html>

(8) 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること。(第8号関係)

別表第8

1年次学納金

平成23年度入学生

法 学 科 昼 間 主 コ ー ス	区 分	入学時	後 期	年 額
	入 学 金	200,000	0	200,000
	授 業 料	285,000	285,000	570,000
	教育充実費	35,000	35,000	70,000
	施設設備資金	115,000	115,000	230,000
	実験実習料	20,000	20,000	40,000
	計	655,000	455,000	1,110,000

社 会 福 祉 学 科	区 分	入学時	後 期	年 額
	入 学 金	200,000	0	200,000
	授 業 料	285,000	285,000	570,000
	教育充実費	25,000	25,000	50,000
	施設設備資金	115,000	115,000	230,000
	実験実習料	50,000	50,000	100,000
	計	675,000	475,000	1,150,000

※社会福祉士課程履修の場合は、社会福祉課程費として

1年次に10,000円を納付すること。

法 学 科 夜 間 主 コ ー ス	区 分	入学時	後 期	年 額
	入 学 金	100,000	0	100,000
	授 業 料	150,000	150,000	300,000
	教育充実費	40,000	40,000	80,000
	施設設備資金	38,000	38,000	76,000
	計	328,000	228,000	556,000

保 育 学 科	区 分	入学時	後 期	年 額
	入 学 金	200,000	0	200,000
	授 業 料	285,000	285,000	570,000
	教育充実費	25,000	25,000	50,000
	施設設備資金	115,000	115,000	230,000
	実験実習料	50,000	50,000	100,000
	計	675,000	475,000	1,150,000

※社会福祉士課程履修の場合は、社会福祉課程費として

1年次に10,000円を納付すること。

緑地環境学科	区 分	入学時	後 期	年 額
	入 学 金	200,000	0	200,000
	授 業 料	285,000	285,000	570,000
	教育充実費	87,000	87,000	174,000
	施設設備資金	130,000	130,000	260,000
	実験実習料	30,000	30,000	60,000
	計	732,000	532,000	1,264,000

健康スポーツコミュニケーション学科	区 分	入学時	後 期	年 額
	入 学 金	200,000	0	200,000
	授 業 料	285,000	285,000	570,000
	教育充実費	25,000	25,000	50,000
	施設設備資金	115,000	115,000	230,000
	実験実習料	30,000	30,000	60,000
	計	655,000	455,000	1,110,000

メディア・プロモーション学科	区 分	入学時	後 期	年 額
	入 学 金	200,000	0	200,000
	授 業 料	300,000	300,000	600,000
	教育充実費	50,000	50,000	100,000
	施設設備資金	100,000	100,000	200,000
	実験実習料	100,000	100,000	200,000
	計	750,000	550,000	1,300,000

2年次学納金 平成23年度入学生

法学科昼間主コース	区 分	前 期	後 期	年 額
	授 業 料	285,000	285,000	570,000
	教育充実費	35,000	35,000	70,000
	施設設備資金	115,000	115,000	230,000
	実験実習料	20,000	20,000	40,000
	計	455,000	455,000	910,000

社会福祉学科	区 分	前 期	後 期	年 額
	授 業 料	285,000	285,000	570,000
	教育充実費	25,000	25,000	50,000
	施設設備資金	115,000	115,000	230,000
	実験実習料	50,000	50,000	100,000
	計	475,000	475,000	950,000

※社会福祉士課程履修の場合は、社会福祉課程費として2年次に20,000円を納付すること。

法学科夜間主コース	区 分	前 期	後 期	年 額
	授 業 料	150,000	150,000	300,000
	教育充実費	40,000	40,000	80,000
	施設設備資金	38,000	38,000	76,000
	計	228,000	228,000	456,000

保育学科	区 分	前 期	後 期	年 額
	授 業 料	285,000	285,000	570,000
	教育充実費	25,000	25,000	50,000
	施設設備資金	115,000	115,000	230,000
	実験実習料	50,000	50,000	100,000
	計	475,000	475,000	950,000

※社会福祉士課程履修の場合は、社会福祉課程費として2年次に20,000円を納付すること。

緑地環境学科	区 分	前 期	後 期	年 額
	授 業 料	285,000	285,000	570,000
	教育充実費	87,000	87,000	174,000
	施設設備資金	130,000	130,000	260,000
	実験実習料	30,000	30,000	60,000
	計	532,000	532,000	1,064,000

健康スポーツコミュニケーション学科	区 分	前 期	後 期	年 額
	授 業 料	285,000	285,000	570,000
	教育充実費	25,000	25,000	50,000
	施設設備資金	115,000	115,000	230,000
	実験実習料	30,000	30,000	60,000
	計	455,000	455,000	910,000

メディア・プロモーション学科	区 分	前 期	後 期	年 額
	授 業 料	300,000	300,000	600,000
	教育充実費	50,000	50,000	100,000
	施設設備資金	100,000	100,000	200,000
	実験実習料	100,000	100,000	200,000
	計	550,000	550,000	1,100,000

2年次に編入の場合の学納金

法 学 科 昼 間 主 コ ー ス	区 分	入学時	後 期	年 額
	入 学 金	200,000	0	200,000
	授 業 料	285,000	285,000	570,000
	教育充実費	35,000	35,000	70,000
	実験実習料	20,000	20,000	40,000
	施設設備資金	115,000	115,000	230,000
	計	455,000	455,000	1,110,000

緑 地 環 境 学 科	区 分	入学時	後 期	年 額
	入 学 金	200,000	0	200,000
	授 業 料	285,000	285,000	570,000
	教育充実費	87,000	87,000	174,000
	施設設備資金	130,000	130,000	260,000
	実験実習料	30,000	30,000	60,000
	計	732,000	532,000	1,264,000

法 学 科 夜 間 主 コ ー ス	区 分	入学時	後 期	年 額
	入 学 金	100,000	0	100,000
	授 業 料	150,000	150,000	300,000
	教育充実費	40,000	40,000	80,000
	施設設備資金	38,000	38,000	76,000
	計	328,000	228,000	556,000

学 科 健 康 ス ポ ー ツ コ ミ ュ ニ ケー ション	区 分	入学時	後 期	年 額
	入 学 金	200,000	0	200,000
	授 業 料	285,000	285,000	570,000
	教育充実費	25,000	25,000	50,000
	施設設備資金	115,000	115,000	230,000
	実験実習料	30,000	30,000	60,000
	計	655,000	455,000	1,110,000

※社会福祉士課程履修の場合は、社会福祉課程費として
2年次に20,000円を納付すること。

長期履修生の学納金

平成23年度入学生

共 通	入学金(入学時)	200,000	
	授業料(各年次)	1単位	13,000

1年次

法 学 科 昼 間 主 コ ー ス	区 分	入学時	後 期	年 額
	教育充実費	35,000	35,000	70,000
	施設設備資金	115,000	115,000	230,000
	実験実習料	20,000	20,000	40,000
	計	170,000	170,000	340,000

※社会福祉士課程履修の場合は、社会福祉課程費として
1年次10,000円、2年次20,000円を納付すること。

2年次

法 学 科 昼 間 主 コ ー ス	区 分	前 期	後 期	年 額
	教育充実費	35,000	35,000	70,000
	施設設備資金	115,000	115,000	230,000
	実験実習料	20,000	20,000	40,000
	計	170,000	170,000	340,000

1年次

法 学 科 夜 間 主 コ ー ス	区 分	入学時	後 期	年 額
	教育充実費	40,000	40,000	80,000
	施設設備資金	38,000	38,000	76,000
	計	78,000	78,000	156,000

※社会福祉士課程履修の場合は、社会福祉課程費として
1年次10,000円、2年次20,000円を納付すること。

2年次

法 学 科 夜 間 主 コ ー ス	区 分	前 期	後 期	年 額
	教育充実費	40,000	40,000	80,000
	施設設備資金	38,000	38,000	76,000
	計	78,000	78,000	156,000

1年次

緑 地 環 境 学 科	区 分	入学時	後 期	年 額
	教育充実費	87,000	87,000	174,000
	施設設備資金	130,000	130,000	260,000
	実験実習料	30,000	30,000	60,000
	計	247,000	247,000	494,000

2年次

緑 地 環 境 学 科	区 分	前 期	後 期	年 額
	教育充実費	87,000	87,000	174,000
	施設設備資金	130,000	130,000	260,000
	実験実習料	30,000	30,000	60,000
	計	247,000	247,000	494,000

1年次

保育学科	区 分	入学時	後 期	年 額
	教育充実費	25,000	25,000	50,000
	施設設備資金	115,000	115,000	230,000
	実験実習料	50,000	50,000	100,000
	計	190,000	190,000	380,000

2年次

保育学科	区 分	前 期	後 期	年 額
	教育充実費	25,000	25,000	50,000
	施設設備資金	115,000	115,000	230,000
	実験実習料	50,000	50,000	100,000
	計	190,000	190,000	380,000

1年次

健康スポーツコミュニケーション学科	区 分	入学時	後 期	年 額
	教育充実費	25,000	25,000	50,000
	施設設備資金	115,000	115,000	230,000
	実験実習料	30,000	30,000	60,000
	計	170,000	170,000	340,000

2年次

健康スポーツコミュニケーション学科	区 分	前 期	後 期	年 額
	教育充実費	25,000	25,000	50,000
	施設設備資金	115,000	115,000	230,000
	実験実習料	30,000	30,000	60,000
	計	170,000	170,000	340,000

(9) 大学が行う学生の修学，進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること。(第9号関係)

- 学生の修学の支援について

履修ガイダンス

学生の修学の支援として学年開始時のオリエンテーションにて学生便覧、シラバスを基に履修指導を行っている。学生は個別時間割作成後、学務課へ提出する。学務課では提出された個別の時間割が資格取得の要件を満たしているか、卒業要件を満たしているか等に重点を置きチェックを行い、指導が必要な学生には個別に対応をし、実際に講義を受けた後に履修科目を変更できるよう設けている履修変更期間に変更を行わせている。

クラス、ゼミ制

クラス、ゼミ制を導入しており個別に指導が必要な学生に対し教員が個別指導を行っている。

オフィシアワー制

オフィシアワー制の導入により学生はどの教員に対しても指導助言を受けられる態勢を整備している。

資格取得講座

放課後に資格講座を開講しており、資格取得を目指したい学生は学科を問わず受講できるシステムをつくっている。

コンピュータ教室の開放

コンピュータ操作技術の支援としてパソコン教室の開放を行っている。本学の学生であれば自由に使用出来、OA準備室に教員を配置しサポートを行っている。

MOSなどの資格取得を希望する学生は個別指導を行い、毎年多くの学生が資格取

得をしている。

外国人留学生支援

外国人留学生支援室を設け、現在中国人留学生が多いため中国人職員を配置し、講義から日常生活に至るまで異国の地で不安が起きても解決出来るように支援をしている。また日本人学生と同様の講義はもとより留学生科目として日本語科目、日本事情に関する科目を特別に設け不足する語学力の支援を行っている。

- 進路選択支援について

進路指導室を設け、民間企業をはじめ各種施設、団体等の求人情報、パンフレットを開架し就職の斡旋、開拓、履歴書の記入等の支援を行っている。

また、学生カルテシステムの導入により、学生情報を共有することで教職員の一貫した進路指導を強化している。

- 心身の健康等に関する支援

保健室に看護師を1名配置し、体調不良の場合など対応できるようにしている。また、身体だけではなく、学生カウンセリング室を設け心のケアも可能にしている。学校保健法、結核予防法に基づき定期健康診断を実施し全学生に結果を配布し必要な学生には学校医への相談及び医療機関の受診等の指導を行っている。

学内での不慮のケガ、事故に対し「学生教育研究傷害保険」「学研災付帯賠償責任保険」に全学生加入させている。